

京都市動物園テーマソング「作詞ガイドライン」

1 はじめに

この度は、当動物園のテーマソング制作にご協力いただき、誠にありがとうございます。ごめいす。

本ガイドラインは、テーマソングが繰り広げる表現の方向性を示すものです。みなさまからの素晴らしい言葉の力を借りて、子どもから大人まで、誰もが口ずさみ、心に残るような、京都市動物園を象徴する歌を一緒に作り上げたいと願っております。

2 テーマソングの目的

- ・京都市動物園の魅力を伝え、来園者のみなさまに感動と喜びを提供すること。
- ・動物たちへの愛情や、自然との共生、生命の尊さについて考えるきっかけとすること。
- ・明るく、希望に満ちた歌を通じて、地域社会に貢献し、多くの人々に笑顔をお届けすること。
- ・将来的には、園のイベントや教育プログラム、広報活動など多方面で活用し、園のブランディングを強化すること。

3 キーコンセプト

本園がテーマソングに込めてほしい「世界観（コンセプト）」は以下のとおりです。

キーコンセプト

京都市動物園らしさ

京都市動物園独自の魅力が感じられること。

※「京都市動物園」を連想させるような内容であれば、必ずしも歌詞中に「京都市動物園」という言葉を含める必要はありません。

生命の輝きと多様性

様々な動物たちが生き生きと暮らす姿から、生命の尊さや多様な個性の輝きを感じられること。

笑顔と発見の場所

来園するたびに新しい発見があり、子どもたちの好奇心を刺激し、家族みんなで笑顔になれる場所であること。自然とのつながり・未来への希望・動物たちが住む豊かな自然環境の大切さ、そして動物たちと共に未来を育む希望を表現すること。

4 表現の方向性

- ・明るく、ポジティブな言葉：希望に満ち、前向きな気持ちになるような言葉を選んでください。
- ・親しみやすく、分かりやすい言葉：子どもから高齢者まで、誰にでも意味が伝わり、情景が浮かぶような言葉遣いを心がけてください。

具体的な描写

動物たちの特徴や園内の風景、来園者の体験などが具体的にイメージできる言葉があると、より魅力的です。

例：「シマウマのストライプ」「キリンの長い首」「ペンギンのよちよち歩き」など

リズム感と響き

音にした時に心地よく、口ずさみやすい言葉の組み合わせを意識してください。

季節感

特定の季節に限定せず、一年を通じて歌える普遍性があることが望ましいですが、季節の美しさを織り交ぜることも可能です。

5 避けてほしい表現

- ・ 悲しい、暗い、ネガティブな感情を直接的に表す言葉。
- ・ 特定の動物だけを強調しすぎる表現（多様性を尊重するため。個別の動物を描写する場合は、複数の動物を織り交ぜるなど、園全体の多様性が伝わるような構成を心がけてください）。
- ・ 特定の個体名（愛称。例：モモタロウ、ミト等）を表す言葉。
- ・ 特定の個人や団体を想起させる固有名詞。
- ・ 社会的なメッセージ性が強すぎる、難解な言葉。

6 その他

形式：最大2番までの歌詞（サビやメロディの繰り返し等を含む）をお願いします。

内容：上記「3. キーコンセプト」「4. 表現の方向性」を参考に、動物園にまつわる情景、動物への想い、来園した時の感動など、心に残る言葉をお寄せ、歌詞を作成してください。

著作権：採用された歌詞は、作曲の段階でメロディや楽曲構成に合わせるため、一部フレーズの修正、加筆、削除、順序の入れ替え等の編集（補作）を行うことがあります。応募者はこれをあらかじめ承諾し、著作者人格権を行使しないものとします。

なお、採用された作品の著作権は、当動物園（京都市）に帰属するものとしますが、不採用となった作品の著作権は応募者に帰属します。

みなさまの創造性あふれる歌詞をお待ちしております。